

# いろいろな事象と関数(2)

## 関数 $y=ax^2$ と関数 $y=bx+c$ の交点

関数  $y=ax^2$  と関数  $y=bx+c$  の交点の座標の値は、二つの式をどちらも成り立たせる。  
よって、交点の  $x$  座標は、2つの式を連立方程式として解くことで求めることができる。

【1】以下の□にあてはまる式または数を入れて、関数  $y=x^2$  と関数  $y=4x$  のグラフの交点の座標を求めなさい。

$$\begin{cases} y=x^2 \cdots \textcircled{1} \\ y=4x \cdots \textcircled{2} \end{cases} \text{とおく。}$$

①を②に代入すると、 $\boxed{\textcircled{7}} \ x^2 = 4x$   

$$x^2 - 4x = 0$$
 左辺を因数分解すると、 $x(x-4) = 0$   

$$x = \boxed{\textcircled{1}} \ 0 \quad \text{または} \quad \boxed{\textcircled{7}} \ x-4 = 0$$

$$x = 0, x = 4$$

①に  $x=0$  を代入すると、

$$y = \boxed{\textcircled{5}} \ 0$$

①に  $x=4$  を代入すると、

$$y = \boxed{\textcircled{8}} \ 16$$

よって交点の座標は、 $(0, 0), (4, 16)$

【2】関数  $y=\frac{1}{2}x^2$  と関数  $y=x+4$  のグラフの交点の座標を求めなさい。

$$\begin{cases} y=\frac{1}{2}x^2 \cdots \textcircled{1} \\ y=x+4 \cdots \textcircled{2} \end{cases} \text{とおく。}$$

①を②に代入すると、 $\frac{1}{2}x^2 = x+4$   
 式を整理して、 $x^2 - 2x - 8 = 0$   
 左辺を因数分解すると、 $(x+2)(x-4) = 0$   

$$x+2=0 \text{ または } x-4=0$$

$$x = -2, x = 4$$

②に  $x=-2$  を代入すると、

$$y = 2$$

②に  $x=4$  を代入すると、

$$y = 8$$

よって交点の座標は、 $(-2, 2), (4, 8)$

答え  $(-2, 2), (4, 8)$

【3】右の図のように、関数  $y=2x^2$  のグラフ上に2点P, Qがある。

次の問いに答えなさい。

(1) 点P, Qの座標を求めなさい。

$y=2x^2$  に  $x=-1$  を代入すると、 $y=2$

$y=2x^2$  に  $x=2$  を代入すると、 $y=8$

答え 点P  $(-1, 2)$  点Q  $(2, 8)$

(2) 直線PQの式を求めなさい。

直線PQの傾きは  $\frac{8-2}{2-(-1)} = 2$   
 傾き  
 $y=2x+b$  に  $x=2, y=8$  を代入すると、  
 $8=4+b$  点Qの座標  
 $b=4$

よって求める式は  $y=2x+4$

別解)  $y=ax+b$  に

2点の座標を代入すると、

$$-a+b=2 \cdots \textcircled{1}$$

$$2a+b=8 \cdots \textcircled{2}$$

これを連立方程式として解くと、 $a=2, b=4$

よって求める式は  $y=2x+4$

答え  $y=2x+4$

